

平成 24 年度日本コンクリート工学会第 2 回役員会 議事録

日 時：平成 25 年 2 月 8 日

場 所：サンポートホール高松 64 会議室(高松市)

出席者：島幹事，橋本幹事、古田幹事、上田常任委員，紙田常任委員、川邊常任委員、曾谷常任委員(代理：足立)、下村常任委員、松永常任委員、長尾常任委員、堀井常任委員、松並常任委員、水越常任委員、森本常任委員、横井常任委員、横田常任委員、吉田常任委員、甲斐理事，岡崎(四国支部事務局)

配付資料

2-0 平成 24 年度日本コンクリート工学会第 2 回役員会次第

2-1 平成 23 年度日本コンクリート工学会第 2 回役員会資料集

●議長挨拶

支部長欠席のため、島幹事が役員会議長を代行。役員会開催にあたって挨拶が行われた。

審議事項

1. 平成 24 年度事業報告案および収支決算案

資料 2-1 に基づき，平成 24 年度事業報告案および収支決算案が事務局岡崎より説明がなされた。拡大幹事会，役員会，総会，研究委員会活動，講演会・講習会，見学会，本部関連行事，コンクリート教育への助成，ホームページ運営，会員増強について平成 24 年度事業報告案に関する資料に基づき詳細に説明がなされるとともに，平成 24 年度収支決算(案)・平成 25 年度収支予算の頁に基づき，平成 24 年度収支決算について説明がなされた。

収入の項目中の本部交付金は会員数に応じて交付されるため，会員の増強に関する活動の積極化の指示なされた。

また，島幹事が委員長をつとめる委員会が新たに追加されたため，支出の項目の研究委員会費は 75 万→100 万であるとの指摘がなされた。

また，収支差額が赤字傾向にあるので健全化を望むとの指摘がなされたが，近年繰越金が交付金を上回っており，この状況は望ましくはないとの本部からの指摘があるため赤字にすることで繰越金を減額していきたいとの説明がなされた。

2. 平成 25 年度事業計画案および収支予算案

資料 2-1 に基づき，平成 25 年度事業計画案および収支予算案が事務局岡崎より説明がなされた。研究委員会，講演会・講習会，見学会，本部関連行事，コンクリート教育への助成，ホームページ運営，会員増強について平成 25 年度事業計画案に関する資料に基づき詳

細に説明がなされるとともに、平成 24 年度収支決算(案)・平成 25 年度収支予算の頁に基づき、平成 25 年度収支予算について説明がなされた。

見学会について、愛媛県大洲市鹿野川ダムで実施されることが決定された。

予算案について、懇親会収入があるものの、支出がないとの指摘があったため、この支出が総会費に含まれているか確認しなくてはならない。

水越常任委員が委員長をつとめる、当初平成 24 年度終了予定のコンクリートの強度に及ばず養生条件に関する研究委員会(水越委員長)は、実験結果の取り纏めのため平成 25 年度までの延長を希望していたが、委員会費 10 万円にすることで延長が認められた。なお、本委員会の報告会を行う必要があるが、示方書講習会と FA コンクリートの耐久性評価に関する講習会と生セミナー in 香川、以上 3 講習会の費用として計上している 30 万円は使い切らないであろうとの橋本幹事からの指摘があったため、この 3 講習会に水越常任委員の委員会を含めた 4 委員会に 30 万円計上することが決定された。

事業計画について、幹事会役員会の予定が入っていないので、含めていただきたいとの指摘がなされた。事業計画については、総会資料に、幹事会、役員会、特別講演会、助成の発表会、懇親会の予定を記述し、これらは事業報告と一対一に対応させるとわかりやすい資料になるとの指摘がなされた。

3. 平成 25 年度四国支部役員について

資料 2-1 JCI 四国支部平成 25 年度役員名簿(案)の頁に基づき、事務局岡崎により説明がなされた。15 番長尾氏「建築技術グループ」を削除、31 番天羽先生「建設システム工学科」「メールアドレス」を削除くださいとの指摘がなされた。

役員交代については 4/27 までにお知らせくださいと島幹事より説明があった。

前支部監事が退任したため、香川大学から 1 名ないし 2 名役員になっていただくことが承認された。一方の方が幹事、もう一方の方が常任委員となることも承認された。

4. その他

平成 24 年度年度支部監事の交代に関し、島幹事より議題が提示された。途中交代であるため、総会に諮りようがないため、本部へ監事交代の報告を行う。また次回総会で交代に関する事後報告を行うことが承認された。なお、本理事会にて水越監事が四国支部規則により選任された。選任の方法やルールがわかりづらいため、総会資料に支部規則を付録として添付すればよいとの指摘があった。なお、総会において支部監事交代前の旧名簿は必要か否か検討が必要である。

本部役員の推薦委員の選出について、これまで拡大幹事会での決定事項であったが、これでよいのか検討する必要がある。

また、支部役員の推薦時期について教えてほしいとの指摘があった。現在、常任委員は 25 名であり、あと数名役員の枠がある。香川高専から 1 名推薦したいとのことである。

常任委員は25名で余剰があるので、香川高専に1名こられるから推薦したいとのことである。

平成25年度は4/12(金)に第1回役員会と総会が、サンポート高松にて行われることが説明された。旧役員と新役員の引き継ぎについて、旧役員会が終了し、総会・特別講演会前に、新役員会をやる必要があるのではないかと指摘がなされた。また、監査について支部長および事務局汐見で、水越監事のもとで行う必要があるとの指摘がなされた。日時については、総会の直前がよいのではという指摘がなされた。

JCI年次大会 in 高松でのキャッチコピーづくりが滞っているとの指摘がなされたため、円滑に進めるための段取りが必要との指摘がなされた。また、学会賞受賞者の講演については、本年の名古屋大会でうまくいけば、継続したいと島幹事より説明がなされた。

以上